

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

特徴ある製品・技術・サービスを開発・提供し、持続的な成長を通じて豊かな未来の創造に貢献すること

連結売上高
1,100億円以上

連結経常利益
130億円以上

ROE
10%以上

CO2削減
45%以上

② 中長期の経営戦略

1. 成長戦略・収益性向上

事業環境変化を成長分野と捉え、事業規模・領域拡大と戦略投資で合金鉄市況の影響を受けにくいポートフォリオ構築。新製品研究開発と外部連携で社会課題解決に貢献する事業創出を探索

3. GX・脱炭素推進

2030年までにCO2排出量45%以上削減（2015年比）目指し50億円規模のGX投資を計画。インターナルカーボンプライシング制度導入。2025年に徳島工場へガスエンジン発電設備導入決定

2. 財務戦略

戦略投資による固定資産増強と株主還元の両立。財務レバレッジ活用で企業価値向上。DX等で棚卸資産効率化を進め在庫影響を軽減

4. DX推進

IT人材育成と基幹システム刷新で生産性・業務効率の飛躍的向上。生産DX・業務DX・事業DXを着実に実行し最適なモノづくりを実現

③ 対処すべき課題

① 合金鉄事業の収益強化

- ・国内生産性向上と棚卸資産圧縮で財務体質確立
- ・海外事業で水力発電グリーン電源優位性を活かし市場開拓
- ・コスト削減による収益改善

② 焼却灰資源化事業の拡大

- ・処理価格へのコスト上昇分反映と自治体連携強化で収集量増加
- ・2030年までに熔融炉を4基から7基体制へ拡張。5号炉新設と6号炉共有設備建設を決定
- ・埋め立て処分場延命化と資源循環に貢献

③ 次世代事業展開

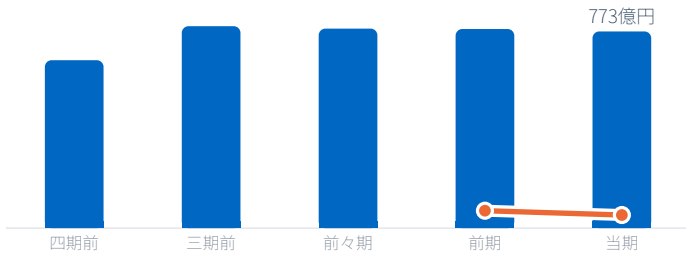
- ・機能材料事業で地政学リスク回避の次世代電池材料研究開発を具体化
- ・アクアソリューション事業で製品ラインナップ強化と新領域開拓
- ・電力事業でFIT安定収益確保と非化石証明発行によるカーボンニュートラル貢献

面接で使えるポイント

- ・2030年『あるべき姿』実現に向け、社会課題解決と企業価値向上の両立を重視する経営戦略
- ・CO2削減45%以上（2015年比）の野心的なGX目標に50億円規模投資で対応する脱炭素推進
- ・合金鉄から電池材料・水処理まで5事業展開し、地政学リスク回避のオンリーワン商品を強化

証券コード 5563

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
773億円営業利益率
6.7%財務健康度
59点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 59.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
758万円

鉄鋼内 16位/38社

平均年齢
42.2歳

鉄鋼内 18位/38社

平均勤続
16.6年

鉄鋼内 27位/38社

女性管理職
1.6%

鉄鋼内 24位/32社

男性育休
88.0%

鉄鋼内 10位/32社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 新日本電工(株)【5563】：決算情報

